



かたまたま  
のけん



# 新着図書案内

2020年11月発行



## 『うおづら』

世界初の魚の顔図鑑



さらさらんちゅう、ショートテールダルマ琉金、ベタハーフムーン…。水槽の中の魚を撮り続けて29年の著者による、魚の顔を正面から撮影した写真集。いやし系からイケメンまで、152の“うおづら”を収録する。

森岡 篤 // 著 大和書房

## 『イヌは何を考えているか』

脳科学が明らかにする動物の気持ち



イヌ、アシカ、イルカ、フクロオオカミ、タスマニアデビル…。MRIの脳画像から見えてくる、動物たちの心の内。医師にして脳科学者の著者が、動物の脳と、そこから生まれる心について語る。

グレゴリー バーンズ // 著 野中 香方子 他 // 訳 化学同人



## 『すごいエスカレーター』

老舗デパートから、再開発ターミナル、未来型超高層ビルまで、エスカレーターマニアの著者が「これは」と思ったエスカレーターを、日本全国から選りすぐって紹介。エスカレーター用語、タイプ、メーカー、鑑賞ポイントも掲載。

田村 美葉 // 著 エクスナレッジ

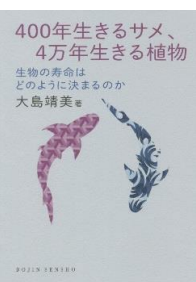
## 『都市で進化する生物たち』

“ダーウィン”が街にやってくる



地球が広範囲にわたり都市化された今、都市も、生物から見れば森林などと等しい自然環境であり、生物にとって進化を促す場所となっている。身近に起きている様々な進化の実態に迫り、生物にとっての都市の価値を問い直す。

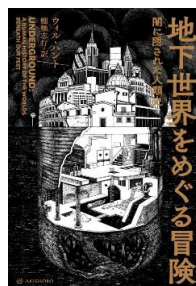
メノ スヒルトハウゼン // 著 岸 由二 他 // 訳 草思社



## 『400年生きるサメ、4万年生きる植物』

自然界には想像を超える長寿生物が存在する。生物の寿命を支える要因とは何か。動物から植物まで、生物の寿命をめぐって近年どのような研究が進んでいるのかを幅広く解説。百寿者の長寿の秘密や老化の研究も含めて紹介する。

大島 靖美 // 著 化学同人

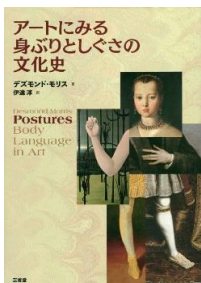


## 『地下世界をめぐる冒険』

闇に隠された人類史

私たちはみな、心に洞窟を持っている。ニューヨークの地下鉄、パリの地下納骨堂、 Cappadociaの地下都市など、世界中の「光なき世界」を渉猟し、人類の歴史と闇への畏怖に思いを馳せたノンフィクション。

ウィル ハント // 著 棚橋 志行 // 訳 亜紀書房



## 『アートにみる身ぶりとしぐさの文化史』

しぐさがわかれば美術がわかる! 動物行動学者で画家でもある著者が、有史以前の小立像や部族芸術、初期の宗教画から、現代アート、民芸品、ストリートアートまで幅広い作品を取り上げ、美術のしぐさを読み解く。

デズモンド モリス // 著 伊達 淳 // 訳 三省堂



## 『菌根の世界』

菌と植物のきってもきれない関係

内生菌根・外生菌根・ラン菌根など、それぞれの菌根の特徴、観察手法、最新の研究成果、菌根菌の農林業、荒廃地の植生回復への利用…。日本を代表する菌根研究者7名が、多様な菌根の世界を写真や図を交えて総合的に解説する。

齋藤 雅典 // 編著 築地書館

\*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。  
\*紹介文はTRCマークより引用。\*書影は日外アソシエーツ「BOOKデータベース」を利用。または出版社より許諾を得ています。



## 『俳句いまむかし』

同じ季語の句の「いまの俳句」と「むかしの俳句」を並べて読みくらべる俳句読本。古典から現代までの名句・秀句・ゆかいな句400句を取り上げ、それぞれの味わいと楽しみ方を伝える。『毎日新聞』連載を書籍化。

坪内 稔典 // 著 毎日新聞出版

## 『電車を運転する技術』

オールカラー&図解で手に取るようにわかる!

安全、定時、快適な運転の秘訣』

運転士が嫌がる「停止が難しい駅」とは? 速度計を見ないで今何km/hかわかるのは本当か? 「普通」「特急」「回送」の運転は何が違う? 電車の運転士の仕事を、写真や図表を交えてわかりやすく紹介する。

西上 いつき // 著 SBクリエイティブ

## 『戦国の図書館』

日本中に書籍が浸透していった戦国時代。戦国大名が設置した文庫や、公家は現在の図書館と似たような活動を行っていたと考えられる。戦国大名らと公家、連歌師との書籍を通じた交流から、「戦国の図書館」の役割を読み解く。

新藤 透 // 著 東京堂出版

## 『劔岳-線の記』

平安時代の初登頂ミステリーに挑む』

岩場が険しく、前人未到と思われていた劔岳。しかし明治40年、測量隊は山頂で、平安時代の錫杖頭と鉄剣を発見する。いつ、誰が置いたのか。登山道具のない時代にどうやって登ったのか。探検家・高橋大輔がその謎に挑む。

高橋 大輔 // 著 朝日新聞出版

## 『地球を支配する水の力』

気象予測の謎に挑んだ科学者たち』

大気、雲、気温、海流…気象の全球的なメカニズムはいかに解明されてきたのか。過去150年の数々の観測と研究を追いながら、科学者たちの気象解明に捧げた道のりをたどる。

セアラ ドライ // 著 東郷 えりか // 訳 河出書房新社

## 『地図の博物図鑑』

15世紀の黙示録図から月面や海底を詳細に描いた地図、紳士の身だしなみの懐中地球儀、人気ドラマの地図まで。美しく魅惑的な地図、海図、図像と、そこに秘められた物語を通じて、地図製作の背景を紹介する。

ベッツィ メイソン // 著 グレグ ミラー // 著 藤井 留美 // 訳  
日経ナショナルジオグラフィック社

## 『家づくりにかかるお金のすべてがわかる本 図解版』

家づくりにかかるお金の相場・適正額をはじめ、どうしたら上手にやりくりできるのかななどを、図表やイラストを使ってわかりやすく紹介。お金に関わる全体像から細かな管理テクニックまで把握できる。

主婦の友社 // 編 主婦の友社

## 『藻類』

生命進化と地球環境を支えてきた奇妙な生き物』

酸素が豊富な地球の大気は藻類がいなければ存在しなかった。韓国の海苔漁師から最先端の素材産業まで、世界を股にかけて取材した著者が、知られざる驚異の生物・藻類の全貌を立体的に描く。

ルース カッシング // 著 井上 勲 // 訳 築地書館

## 『ハダカデバネズミのひみつ』

「魅惑のルックス」「がん化耐性」「17種の鳴き声」…。謎多き珍獣・ハダカデバネズミの驚異の生態を大解剖。ハダカデバネズミの研究のあゆみ、研究者のインタビュー、ハダカデバネズミに会える日本の施設等も掲載する。

岡ノ谷 一夫 // 監修 エクスナレッジ

## 『円をめぐる冒険』

幾何学から文化史まで』

古代から多くの数学者を魅了してきた「円」の全体像に迫る一冊。長年数学教育に携わってきた著者が、数学的な基礎知識から、美しい定理、作図法、頭を唸らせる難問、文化史まで、平易に解説する。

アルフレッド S.ボザマンティエ // 著  
ロベルト ゲルトシュレーガー // 著 松浦 俊輔 // 訳 紀伊國屋書店

\*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。  
\*紹介文はTRCマークより引用。\*書影は日外アソシエーツ「BOOKデータベース」を利用。

